

A. 主な動き

1. 内政

憲法第78条改正のための国民投票

- ・23日、欧州評議会は、野党勢力及び地方行政政府による同国民投票ボイコット呼びかけは合憲との見解を発表。
- ・25日、フィラト首相は、憲法第78条改正のための国民投票実施を妨害する地方自治体首長に対して刑事訴訟を開始すると発言。
- ・25日、中央選挙管理委員会は、同国民投票のための正確な選挙者名簿が準備されていないと各地方自治体首長を非難。
- ・26日、中央選挙管理委員会は、同国民投票ボイコット呼びかけは合法との欧州評議会の見解を支持。

政党・議会の動き

- ・21日、ギンプ大統領代行は、A EIはルプ民主党党首を統一候補として大統領選挙に臨むべきと発言。
- ・23日、欧州評議会は、期限前議会選挙は本年中に行われる必要があるとし、9月5日に実施される国民投票後に同評議会がモルドバ情勢の評価を行うと発表。
- ・24日、ヴォローニン前大統領は、同国民投票後に共産党は議会に復帰すると発言。
- ・25日、A EIは、同国民投票に向けたA EI所属政党による共同委員会の設置を否定。
- ・26日、ルプ民主党党首は、政府は来年度予算案を早急に作成する必要があると発言。

ギンプ大統領代行による叙勲

- ・24日、ギンプ大統領代行は、第二次大戦中の「共産党員の全体主義による占領政策に対抗した戦士達」を叙勲する大統領令に署名。
- ・27日、ギンプ大統領代行は、ドゥルク初代首相(ママ)を叙勲する大統領令に署名。

世論調査

- [IMAS-inc]
- ・9月5日に実施される国民投票への参加参加する:73%、参加しない:12%、不明:15%
- ・(参加すると答えた回答者の)憲法第78条改正への賛否賛成:91%、反対:3%、不明:6%
- ・調査は7月26日から8月12日にかけて2,012名を対象に実施。標準誤差は2.2%以内。

2. 沿ドニエストル

- ・21日、露外務省は、パセスク・ルーマニア大統領のモルドバの領土保全に関する声明につき、沿ドニエストル領内の露軍部隊駐留は、平和維持活動を行っており、1992年7月

21日付のモルドバ共和国沿ドニエストル地域武力紛争平和解決原則にかかる合意に基づいて駐留していると反論。

- ・25日、フィラト首相は、サッカー観戦のためオシポフ沿ドニエストル問題担当副首相と共にティラスポリに滞在。サッカー観戦中にフィラト首相は、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」と会談、キシノウ・ティラスポリ間の対話につき協議。

3. 経済

モルドバ産ワイン品質問題

- ・23日、禁輸措置が秋の選挙に起因するというギンプ大統領代行の20日の発言を受け、オニシェンコ露消費者監督庁長官は、同露消費者監督庁代表団のモルドバ訪問は当面予定していないと発表。
- ・23日、ギンプ大統領代行は、モルドバ産ワイン生産者に対し、国内市場の更なる開拓を提案。

モルドバ産青果品質問題

- ・24日、露は、品質が不十分としてモルドバ産青果輸出業者の一部に禁輸措置を発動。
- ・25日、ブマコフ農業食品産業省次官は、露の国家獣医学・植物検疫監督局がモルドバからのりんご供給者としてリストされている企業を177から33へと5分の1以下に削減し、青果を積載した車輜が税関に於いて足止めされていると発言。同次官は、モルドバの青果の8割が露に輸出されているとし、リストされている青果供給者の数を増やすよう露に要請する、とも発言。
- ・25日、コサルチウク農業食品産業相は、青果輸出業者の規制に関し、質問状を露農業監督庁に発出。
- ・26日、コサルチウク農業食品産業相は、露がモルドバの青果供給者リストについて検討することに合意したと発言。また、これまで認可されていた企業のうち活発に活動しているのはおよそ30社のみである、とも発言。
- ・26日、コサルチウク農業食品産業相は、露から輸入許可を得ている複数の業者が同一人物により設立されているとして疑念を表明、当該業者の調査を行うと発表。
- ・26日、ルプ民主党党首は、露によるモルドバ産農作物の禁輸措置には政治的意図はなく、本件は、特定の政党ではなく生産者のために解決されるべきと発言。

対モルドバ援助

- ・27日、EU及び欧州委員会は、9月5日に実施される国民投票実施のために共同で約110万レイを支援。

その他

- ・25日、露は、モルドバの6輸送業者に対して10月1日以降の入国を禁止。

・26日、FBIは、ウラン密輸事件に関し技術協力を行うためにキシナウを訪問。

4 . 外政

25～26日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のハンガリー実務訪問

・26日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、マルトニ・ハンガリー外相と会談、モルドバの欧州統合及び2011年1月のハンガリーのEU議長国就任等につき協議。マルトニ・ハンガリー外相は、モルドバの欧州統合を支持すると表明、モルドバの対EU連合協定交渉及び査証自由化交渉の進展を評価。

・両者は、9月にブタペストにてFTA交渉にかかる会合、10月にはキシナウで欧州統合にかかる政務協議を開催することで合意。

▼その他

・23日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、煙草の密輸に関与した2名の外務省職員を免職にしたと発表。

5 . 防衛

世論調査

[IMAS-inc]

・公共機関の信頼度

軍:62.8%、キシナウ市当局:53.6%、政府:39%、議会:36.7%、大統領:32.1%、警察:30.9% 等

・調査は7月26日から8月12日にかけて2,012名を対象に実施。標準誤差は2.2%以内。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)